



教育支援センター 「ゆっくるも」

市では、学校に行くことができない、家庭に閉じこもりがちな子どもに対して、社会的な自立や学校生活への復帰を支援するため、令和5年6月より教育支援センター「ゆっくるも」を開設しています。

問 市・教育政策課

TEL 42-3006

家でも学校でもない子どもの「第三の居場所」として

不登校は、本人に関わるもの（不安や無気力、体調不良や起立性調節障害など）のほか、友人や学校との関係、学業不振、家庭環境など、多様な要因・背景が複雑に絡み合って引き起こされており、全国的にも留萌市においても増加傾向にあります。不登校は誰にでも起こりうることであり、決して問題行動ではありません。留萌市では、そのような学校に行きたくても行くことができない子どもたちの、家でも学校でもない第三の居場所として、留萌市教育支援センター「ゆっくるも」を令和5年6月に設置しました。

◎こんな時は…



- ・行き渋りが出てきた。
- ・学校に行きたくない。
- ・朝になるとおなかが痛い。



- ・学校のことを考えると、起きることができない。
- ・3日以上連続で休んでしまった。



- ・ずっと学校に行くことができていない。
- ・外出することも少なくなった。
- ・昼夜逆転の生活になっている。

学校に行きづらさを感じたとき、学校に行けなくなってしまったとき、「ゆっくるも」にご相談ください。学校に行けない間の心地よい居場所づくりに努めるとともに、少しずつ心の元気を回復させながら、学校生活への復帰に向けて支援していきます。

学校には行けないけど、ここにいてもいいんだ。良かった！



今、学校のことを考えるのはつらいよね。落ち着くまでここでゆっくりしてもいいんだよ！

「ゆっくるも」って、どんなところ？

- ・「ゆっくるも」で行う支援の内容は、「適応指導」「学習指導」「生活指導」「教育相談」などです。
- ・指導員3名(元学校長、元教諭など)が常勤しており、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも連携しています。
- ・活動時間は、平日 月曜日～金曜日 9:00～15:00 です。利用する日や時間は自分で決めることができます。自分が行ける日、行きたい日に来て勉強したり、他の子どもたちと交流したり、レクをしたりします。

●学習活動のお手伝いをします！

学校を休んでいて勉強が遅れてしまった、わからないという時は、指導員がマンツーマンで学習指導にあたります。その子に応じて前の学年まで戻って学習することもできます。

●学校復帰のお手伝いをします！

「学校に行けそうだ!」と思えるようになったら、指導員と一緒に再登校に向けての取り組みを行います。登校する日は本人と相談をして決めます。初めは週に1日・1～2時間程度、本人の精神的負担にならない程度から始め、少しずつ学校にいる時間を増やしていきます。

●スポーツやレクも行います！

学校に行けないという同じ悩みを持っている子どもたちと一緒にスポーツや様々な体験活動を行うこともできます。



農業体験



黄金岬海遊び



陶芸教室

仲間と活動することの楽しさを味わわせ、心のリフレッシュやコミュニケーション能力の向上を図ります。

「ゆっくるも」に通えた日は、学校に行けなくても「出席扱い」になります！

- ・「ゆっくるも」に通えた日数は、毎月末にお子さんの在籍校にお知らせしています。
- ・条件がそろえば、「ゆっくるも」で行った学習活動が通知表等での評価の対象になります。

「ゆっくるも」では、随時教育相談を受け付けていますので、ひとりで悩まず、子どもの行き渋りや不登校の予兆を感じたときは、すぐにご相談ください。

ひとりで悩まず、電話してみませんか？

TEL：090-9005-5338（「ゆっくるも」専用携帯電話）

場所：留萌市中央公民館 2 F 時間：9時～15時（土日祝日除く）

H P：https://www.e-rumoi.jp/gakkoukyouiku/page28_00083.html



「ゆっくるも」に関する
ページ(市HP)QR